

地域創造学科オリエンテーション (1年生)

【経済学部 地域創造学科】



学期・授業時限 【履修ガイドP7】

<学期>

- ・学期は**前期(4月～9月)**と**後期(9月～翌年3月)**の2期制
- ・授業は基本的に5時限まで(6時限は補講時限)

<時間帯>

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	補講時限 (6時限)
9:00～10:30	10:45～12:15	13:05～14:35	14:50～16:20	16:35～18:05	18:20～19:50

受講（出席・欠席） 【履修ガイドP7～8】

- (1) 各学期の授業は、成績評価を含め15回実施
- (2) 単位認定には、「3分の2以上出席」が必要
- (3) 授業を欠席する場合は、手続きが必要（P58）

成績評価

【履修ガイドP12】

合否	評価基準	評価表示
合格 (単位修得)	100～90点	秀
	89～80点	優
	79～70点	良
	69～60点	可
不合格	59～1点	不可
	0点	不可×
	失格 (授業出席日数不足など)	失格

履修登録 【履修ガイドP16～】

<注意事項>

- ①履修登録をしないと授業に出席していても単位修得は認められません。
- ②履修登録期間に登録しないと履修は認められません。
- ③各学年次に履修できる単位数の上限は、次の通りです。

<履修できる単位数の上限>

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
単位数	46	46	48	48

※各学年次の各学期の履修できる単位数は、4年次生を除き、上記の単位数の半数を原則とし、30単位を超えることはできない。

単位の数 (1年生科目)

英 語 I	1 単位
日本語表現法 I	1 単位
新修外国語 (ドイツ語 I・中国語 I・韓国語 I)	1 単位
スポーツA	1 単位
福原学	1 単位
情報処理演習 I	1 単位
K-CIP関連科目	1 単位

その他の講義は概ね2単位

履修計画 【履修ガイドP42】

<卒業単位数>

卒業に必要な単位数(要卒単位数)は**124単位**

履修区分	要卒単位数
総合共通科目 【履修ガイドP36】【学生便覧P32】	30単位 *1
専門教育科目 【履修ガイドP38】【学生便覧P36】	76単位 *1
自由選択科目 【履修ガイドP41】【学生便覧P37】	18単位

*1 要卒単位数を超えて修得した単位は、自由選択科目区分に算入される。

専門教育科目

【履修ガイドP38】

履修区分	最低修得単位数		要卒単位数
①コア科目群	必修6単位	<u>12単位以上</u>	<u>76単位</u>
②地域創造基礎科目群	必修16単位	<u>26単位以上</u>	
③コース科目群		<u>18単位以上</u>	
④実践科目群	必修4単位	<u>4単位以上</u>	
⑤ゼミナール科目群	<u>必修16単位</u>		

①コア科目群 【学生便覧P36】

経済と経営の基礎を学ぶコア科目は、必修7科目(計14単位)を配置。
 これらの科目は職業人として身につけておくべき**経済および経営の知識のコア(核)**となる**重要な科目**。
 コア科目群のうち、**必修6単位**、**選択必修6単位**の計12単位を修得しなければならない。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要	
			必修	選択	1年		2年		3年		4年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
コア科目群	経営学概論	講義	2	→	2									※4科目中3科目を選択必修とする
	経済学概論	講義	2			2								
	統計学入門	講義	2				2							
	統計学	講義		2				2						
	マクロ経済学	講義		2				2						
	ミクロ経済学	講義		2				2						
	日本経済史	講義		2				2						

②地域創造基礎科目群 【学生便覧P36】

地域創造の基礎を学ぶ地域創造基礎科目群。

地域創造基礎科目群のうち、必修16単位、選択必修10単位の計26単位を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要		
					1年		2年		3年		4年				
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
地域創造基礎科目群	KKU北九州学	講義	2		2										
	簿記入門	講義	2	→	2										
	簿記入門演習	演習	2		2										
	初級簿記	講義	2			2									
	初級簿記演習	演習	2			2									
	地域貢献概論	講義	2			2									
	地域のまちづくり入門	講義	2				2								
	民法	講義	2				2								
	人口学	講義		2			2								
	社会調査法	講義		2			2								
	ビジネスとICT	講義		2				2							
	社会調査法演習	演習		2				2							
	おもてなし総論	講義		2					2						
	地域経済論	講義		2					2						
	質的調査法	講義		2					2						
	地域協働論	講義		2							2				
ソーシャルビジネス論	講義		2							2					

※9科目中5科目を選択必修とする

④実践科目群 【学生便覧P36】

理論と実践の往還・融合による効果的な学習を進めるため、実践科目群には、必修科目として地域の自治体、企業、福祉施設、ボランティア団体等と連携したアクティブラーニング型の科目などを配置します。実践科目群のうち、必修4単位を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要	
					1年		2年		3年		4年			
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
実践科目群	地域創造実習Ⅰ	実習	1		2									
	地域創造実習Ⅱ	実習	1			2								
	地域創造実習Ⅲ	実習	1				2							
	地域創造実習Ⅳ	実習	1					2						
	地域創造実習Ⅴ	実習		1					2					
	地域創造実習Ⅵ	実習		1						2				
	地域調査実習Ⅰ	実習		1							2			
	地域調査実習Ⅱ	実習		1									2	
	地域ワークショップ	演習		2							*(集中)			
	職業研修A	実習		2							*(集中)			
	職業研修B	実習		2							*(集中)			

⑤ゼミナール科目群 【学生便覧P36】

4年間の一貫したゼミナール科目7科目(計16単位)を必修科目として配置します。
ゼミナール科目群のうち、**必修16単位**を修得する必要があります。

区分	授業科目	授業形態	単位数		毎週授業時間数								摘要	
					1年		2年		3年		4年			
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
ゼミナール科目群	地域創造ゼミナールⅠ	演習	2	2										
	地域創造ゼミナールⅡ	演習	2			2								
	地域創造ゼミナールⅢ	演習	2				2							
	地域創造ゼミナールⅣ	演習	2					2						
	地域創造ゼミナールⅤ	演習	2						2					
	地域創造ゼミナールⅥ	演習	2							2				
	地域創造ゼミナールⅦ	演習	4								2	2		

時間割作成



【経済学部 地域創造学科】

用語集

※履修区分ごとに最低限修得しなければならない単位数が決まっている。
たとえば、「教養教育科目」は領域ごとに2単位以上、「言語・異文化理解科目」は計8単位以上など【履修ガイドP42】【学生便覧P31】

<履修とは・・・>

受講希望科目を登録し、授業を受け成績評価を得ること

用語	説明
必修科目	必ず履修する授業科目で、単位を修得しなければ卒業ができない。
選択必修科目	いくつかの選択授業の中から、最低限修得しなければならない単位が決められているもの。
選択科目	自分で選んで履修を決められる。

時間割を作る際のルール

- ・1年次の履修登録上限：**46**単位
- ・1年次前期の履修登録上限：**23**単位(原則)
30単位(最大)

※履修登録上限に含まれない科目もある。

「大学コンソーシアム関門開講科目」・「短期海外研修単位認定(海外研修)」・
「まちなかESD開講科目(教養特講まなびと講座)」⇒WEBでは履修できない特
殊な科目の一部

時間割を作る際の注意点①

- ◆履修登録は、**オンライン(PC, スマートフォン等)**で行います。
- ◆「**令和3年度(前期)履修申告書**」を用意して下さい。
- ◆令和3年度(前期)履修申告書**作成の手引き**をよく読んで時間割を作りましょう。
- ◆ホームページに掲載されている**シラバス(講義要項)**を見て、授業内容を確認して履修して下さい。
- ◆シラバス(講義要項)はUNIPAログイン画面下の「シラバス照会」から確認してください。

時間割を作る際の注意点②

◆授業時間割が変更されています！

月曜日	
1 限目	
	科目名
	担当
	単位数
	教室

講義コードを必ず書くこと。
授業時間割に書いてあります。

教室番号を必ず確認すること。
授業時間割に書いてあります。

単位数を必ず書くこと。
履修ガイドに書いてあります。

配付されている授業時間割、
または下記QRコードより確認後、
履修登録を行うこと。

一部修正されている場合がある
ため、修正表も確認すること。

[region_2021_first.pdf \(kyukyo-u.ac.jp\)](#)





令和3年度(前期)履修計画表

【地域創造学科1年次】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	集中講義
1 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室 (3)	科目名 担当 先生 単位数 教室 KKU北九州学 成富	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	・海外研修 ※スケジュールは、別途案内。
2 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室 (1)	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室 福原学 クラス担任	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
3 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室 (2)	科目名 担当 先生 単位数 教室 簿記入門 堂野崎	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室 地域創造ゼミナールⅠ 堂野崎	科目名 担当 先生 単位数 教室 地域創造実習Ⅰ 尾上	
4 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室 簿記入門演習 堂野崎	科目名 担当 先生 単位数 教室 経営学概論 池内	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	
5 限目	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	科目名 担当 先生 単位数 教室	

赤字: 必修科目

: 総合共通科目

: K-CIP科目

(1) 英語 I 【必修科目】 月曜2時限

- クラス分け名簿は、4月6日9時以降にUNIPAおよび学内掲示板にて発表。
- 履修登録は、4/8(木)以降に教務課が登録するため、各自確認しておくこと。

(2) 情報処理演習 I 【必修科目】

<①～⑤クラス>

➡月曜3時限

<⑥～⑩クラス>

➡月曜4時限

(3) 日本語表現法 I 【必修科目】

前期

< 21A2001～21A2027 >

➡ 火曜1時限(大場)

後期

< 21A2028～21A2054 >

➡ 火曜1時限(幣)

< 21A2055～21A2080 >

➡ 水曜3時限(幣)

履修登録は、教務課で行われるため、
各自確認しておくこと。

教養教育科目 (火・木曜日1.2時限、金曜日1時限)

- 教養教育科目が開講される時限

火・木曜日1.2時限、金曜日1時限

- **抽選が行われる。**(履修すれば必ず受講できるわけではない)

※「教養教育科目」: 抽選希望登録画面から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までを登録する。登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合は抽選機能による振り分けを実施。なお、振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できない場合あり。詳しくは「履修登録方法および受講制限について」を必ず確認。

言語・異文化理解科目（金曜1・2時限）

「言語・異文化理解科目」の単位修得のためにも履修することが望ましい科目。（学生便覧P31参照）

- ・ドイツ語 I
- ・中国語 I
- ・韓国語 I

なお、新修外国語希望調査の結果は、4月5日の新入生研修で提示。
履修登録は、学生自身で行う。

健康教育科目 (水曜3.4時限)

総合共通科目(健康教育科目)が開講。

- ・前期はスポーツAとして、
 - ➡「卓球」「バスケットボール」「サッカー」「テニス」「ソフトボール」
- ・後期はスポーツBとして、
 - ➡「バドミントン」「バスケットボール」「サッカー」「テニス」「ソフトボール」

※「スポーツA」: 抽選希望登録画面から登録

Web履修登録時に第1希望から(最大)第5希望までを登録する。登録科目に偏りがある場合および教室定員を超過する場合は抽選機能による振り分けを実施。なお、振り分けの結果、いずれの科目も抽選漏れにより受講できない場合あり。詳しくは「[履修登録方法および受講制限について](#)」を必ず確認。

採用試験突破プログラム

K-CIP (Kyoritsu Career Improvement Program)

K-CIPとは、「公務員採用試験」の合格を目指す学生のために導入された学部教育と連動した本学独自のキャリア教育プログラム。

- **学部教育と連動。**

- ➡ 18単位まで卒業要件(自由選択科目)に含まれる！

- **無理のない復習型の授業を展開。**

- ➡ K-CIPは、専門学校(1~2年程度)と異なり、4年かけてじっくり学ぶことができる！

- **経済的・時間的負担を最小限に抑えられる。**

- ➡ ダブルスクールでの学習は一切不要！

- **大学の友人と共に学ぶことができる。**

- ➡ 慣れた環境で、仲間と共に学ぶことができる！

詳細は、4月5日(月)13:30~
K-CIP説明会(S210)に
必ず参加すること

K-CIP科目

月曜日 火曜日	4時限 2時限	文章理解 ※
水曜日	5時限	数的処理 I
木曜日	2時限	社会科学

※文章理解は、後期に履修も可能

- ➡ K-CIPの申込を考えている人は、必ず履修すること。
- ➡ K-CIP科目は自由選択科目としてカウント。

教科書販売は、自由ヶ丘会館2階
紀伊國屋書店にて、購入すること

履修登録・修正期間

【Web履修登録期間】

履修登録等は、**オンライン(PC, スマートフォン等)**で行います。

4月5日(月)～4月7日(水)17:00まで

【Web履修修正期間】

4月19日(月)～4月20日(火)まで

【Web履修削除期間】

5月6日(木)～7日(金)まで

※履修しない科目は必ず削除すること。放置すると、出席率や成績に影響を及ぼします。

特に、部活動生や特待生および奨学金生は審査にも影響するため要注意！

最後に・・・

大学生活は、社会人として自立していくための貴重な4年間になります。
大学生活を充実させるために大事なのは「**できるかできないかではなく、やるかやらないか**」です！

本学では皆さんが大きく成長できる環境が整っております。何事も経験すること
でしか得られないものもありますし、失敗を怒れず、様々なことにチャレンジしな
がら、将来に向けて自らの可能性を広げていきましょう！

我々教員も皆さんと共に立ち、全力でサポートしていきたいと思っておりますので、宜
しくお願いします。